

事前確認

- 前回同様、新しくくじ引き。4人組を中心に活動。
 - 154人÷4人=38.5グループ
- 前回の振り返り：AIテキストマイニングは入れました。
 - 高尾先生、パワポか口頭で前回のFBシートへのコメントをよろしく。
- 席替え（シャッフル）をどうやるか？
 - オンライン時：新たな4人組で2回ブレイクアウト（各25分）
 - さて対面ではどうする？
 - 縦列を横に一席ずつずらす。8番は1番に移動。他は+1右へ。
 - 最前列を最後列に移動。奇数が振り向いていたのを、偶数が振り向く。
 - この案で、シャッフルできる？12pに記載
- Final Message、最後に高尾先生から何かよろしく。
- 歌の新ユニットの名称：「真夏のサンタ」でどう？
 - たみお、たかし、たけお、と3つの「た」なので
 - 「生きてるうちに」の練習よろしく。

コミュニケーション論A
座り方

クジの席へ

例：3-6

前から3列目、左から6番目（空席は除く）

38 + 38 + 40 + 38 = 154人
(教室は286席、定員の7/13で154人)

前方：教壇・ホワイトボード

A組 $2 \times 19 = 38$

B組 $2 \times 20 = 40$

C組 $2 \times 19 = 38$

D組 $2 \times 19 = 38$

	1	2	3	4	5	6	7	8
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								

後方：入り口

LAH.H107

コミュニケーション論 A

第7回最終回：ふりかえりワールドカフェ

2022.8.1

リーダーシップ教育院・リベラルアーツ研究教育院教授

中野民夫 tamio.nakano@me.com

高尾隆 takao [at] takashitakao.net

(オブザーブ：鈴木健雄)

コミ論A 2022 全体の流れ

- 1) 6.13 : オリエン、グループワーク体験
- 2) 6.20 : コミュニケーションの基礎スキル
 - 聴くことと話すこと、意味と感情のやりとり、始め方。
- 3) 6.27 : 相互インタビューと他己紹介
- 4) 7. 4 : ワールドカフェ (全員参加の対話)
- 5) 7.11 : 創造的コミュ実習 : インプロ1
- 6) 7.25 : 協働的コミュ実習 : インプロ2
- 7) 8. 1 : ふりかえりワールドカフェ

User Local AIテキストマイニング

文書要約<ダイジェスト> 10行から

- 文字を使わないコミュニケーションも、容易にできることがわかった。
- 自分の思い通りにならないのが面白い。
- 自分には絵を描く才能は少しあることがわかった。
- 盛り上がる努力を十分すればもう少し上手く行ったかもしれない。
- "絵を描くということが思いの外コミュニケーションと共通点があった。
- 絵だけで文字がなくても会話が弾んで楽しかった！
- 言葉よりも絵の方が最初のコミュニケーションとしてやりやすかった。
- 仲良くなるにはもうワンステップ必要な感じがした。
- これはいろんな場面で影響していそうだと思った。
- 今日やった共同作業はとても打ち解けやすいものだった。

フィードバックシートから

- 高尾先生、コメントよろしく

最終回8/1に向けて 最終課題

- 宿題：最終レポート(A4, 1枚) を前日7/31夜までにT2SCHOLAに提出。
- その最終レポートを4枚プリントアウトして持参する。
- 来週はそれを各4-5分で**プレゼンテーション**し共有し学び合う。
- **最終レポート課題（A4、1枚。1200–1600字程）**
 - 1) この授業を通して、自分にとって印象的だった体験を3つほど取り上げ、そこから「コミュニケーション」について自分が学んだことを、分析的かつ具体的に記述せよ。
 - 2) どんな夢や志を描こうとしているか。そこに向けて、自分がより自由になり、他者ととともに自由になって活動するために、コミュニケーションをどのように活用できるだろうか。自分なりの思いや具体的な展望を記述せよ。
 - 3) その他、学生同士の対話を重視した「参加型」の授業についての感想・評価、あれば改善案。（基本的に評価外なので率直に。優れた提案は加点）

今日の流れ

1420-1600

- 1420 オリエン・復習
- 1430 プレゼン大会第1ラウンド(25')
- 1455 全体で
- 1500 プレゼン大会第2ラウンド(25')
- 1530 全体で
- 1540 最後のメッセージ・歌
- 1555 授業評価アンケート
- 1600 終了

総復習をカフェ対話で行う意図

- 私たちは、皆さんの「自ら学ぶ力」を信じています。
 - それは仲間と互いに対話し「学び合う」時により発揮される。
 - 同じ授業をとっても、それぞれの受け止め方は違う。
- 各自の学びをわかりやすく説明（プレゼン）する。
 - 各プレゼンの「違い」、その多様性から学び合おう。
 - 自分の限られた「世界」を広げるきっかけになる。
- 自分で気づき、発見し、得たものは、簡単には忘れない。
 - どこかでできっと使える。応用できる。
- だから、共に何かを発見する「創造的な対話」を
 - 率直に話す。が、こだわりすぎない。

プレゼン/シェア大会（対話）を2ラウンドで 初めに顔合わせ（チェックイン）を

- 新たな4人組で2回やります（各25分）
- 誰かホスト（ファシリテーター）をかって出て！最後のチャンス！
- その人が顔合わせのチェックインで話す内容と順番を決め、まず3分程度で、アイスブレイクし「関係の質」を上げよう。
- さらに、それぞれレポートを配って見せながら5分以内でプレゼン
(× 4人 = 20分)
 - A案：5分以内でレポート全体の概要を話し、自由にフィードバック（質問・感想）しあおう。
 - せっかく話したら「人の反応」は知りたいもの。ぜひ全員から一言。
 - B案：お題の1-3を、一人が一度に全部話すのではなく、一つずつ順に話す

第1ラウンド 4人組で

20分

14:50まで
にさせていただきます。

席替え

全員の協働が必要！

- 全員が右に一つ移動
 - 一番右の8の人は一番左の1へ移動。
- 一番前の横一列は一番後ろ20列？に移動
 - 一番後ろは端数が出ているので、要調整。
18列で144人、19列目で
 - (鈴木先生、よろしく)
- 偶数列が後ろを振り向き4人組へ。
 - シャッフルできた？

	1	2	3	4	5	6	7	8
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								

第2ラウンド 新たな4人組で

新たなお題を追加します
「コミュニケーション3箇条」

25分

第2ラウンド 1500-1525

レポートシェア+追加：コミュニケーション3ヶ条づくり

- 誰かホスト（ファシリテーター）をかって出て！最後のチャンス！
- その人が顔合わせのチェックインで話す内容と順番を決め、まず3分程度で、アイスブレイクし「関係の質」を上げよう。
- さらに、それぞれレポートを配って見せながら5分以内でプレゼン（×4人=20分）
 - A案：5分以内でレポート全体の概要を話し、自由にフィードバック（質問・感想）しあおう。
 - せっかく話したら「人の反応」は知りたいもの。ぜひ全員から一言。
 - B案：お題の1-3を、一人が一度に全部話すのではなく、一つずつ順に話す
- 第2ラウンドの追加お題
 - コミュニケーション3ヶ条づくり：これだけは忘れたくない、大事にしたいことを3つくらいにまとめよう。単語でなく短文で。下書きと清書に。

〇〇+〇〇+〇〇+〇〇の、 コミュニケーション3箇条

1. ん?と思う異質な意見も、まずは笑顔でうなづき、よく聴いてみよう。
2. 無意識の自己検閲に気づき、自分や他者の可能性を信じて、より創造的に遊んでみよう。
3. 歌も大事なメッセージ。替え歌からでも作ってみようか。

Final Message

高尾隆から

- 私はコミュニケーションによってつくられる（ゴッフマンに触発されて）
 - 本当の自分なんてない。たくさんの自分があるだけ
 - アイデンティティという物語
 - 関係の数、コミュニケーションの数だけ自分ができる
 - 演技と行動が自分をつくる
- ヒトは協力する動物である（トマセロに触発されて）
 - ヒトは協力することで生き延びてきた
 - 恐怖を感じると自己検閲によってできなくなってしまう
 - Give your partner a good time



協力・共感の発達と進化

2歳児も他者を援助し協力する。
この傾向はヒトだけのもの？
協力を可能にする
「ヒト」の進化をめぐる最先端の議論。

中野民夫から メッセージと、歌3曲

- 関心を持つ
 - ホスト王：「今ここであなたのことを理解したい」
 - 関心があれば、表情や態度、質問が自然に出てくる。
- 人と人
 - 関係の両義性：苦しみも、喜びも。うまくやれば至福
 - 固定的な「人」はない。関係性の中で「現象する」。
 - 人と人。人と自然。人と自分自身。人と社会。
 - つながりを取り戻す。
- 私の大学1年生
 - 1ヶ月でドロップアウト、休学。孤独な一人旅から学んだ。
 - 2年目、楽しい学生生活。映画作り。ワングル。
 - 企業30年、今大学教員。キャリアの展開はひよんなことから。
 - 先のことなどわからない。縁を大切に。直観・野生を磨いておこう！

夏休みにお勧め！



岩波ジュニア新書

ILA教員14人の共著。
「僕は大学時代、何よりも旅から学んだ」（中野民夫）



『学び合う場の作り方』
（中野民夫）

ファシリテーションの集大成。
さらに教室を出て、本当の学びへ。

Tamio Nakano
Final message

Follow your Bliss!

(Joseph.Campbell)

気になることについていこう！

いのちのトキメキに素直になる（春山慶彦）

自分の本当にやりたいこと、頭でなく、身体や心、魂が喜ぶこと、いのちが滾ること、そんな自分の至福、気になることについていこう。

人は試練を経て成長する。たとえ失敗しても次につながる。
生き生きとした自分と世界のために。

気になることについて行こう (Follow your bliss!)

2018,5 詩・曲: 中野民夫

1.好きなこと、やればいい
でもそれなかなか難しいよね
まわりの世界に合わせるうちに
やりたいことすらわからなくなる

でも大丈夫、本当は知ってる
みんな地球の子どもだから
一人ひとりがのびのびやれば
僕らを生んだ宇宙も喜ぶ

* 自分の至福について行け
フォロー、ユア、ブリス
気になることについて行こう
フォロー、マイ、ブリス

2.春のきざしに花ほころんで
緑がまばゆく目覚めるように
考えるより、いのちのままに
カラダとココロが歡ぶ方へ

外に向かって頑張るよりも
内なる気配について行こうよ
僕らは宇宙の最前線
やることすべてが天地創造

* 自分の至福について行け
フォロー、ユア、ブリス
気になることについて行こう
フォロー、マイ、ブリス

悲しみはいつか宝に

(2016年3月作曲・作詞：中野民夫)

1.

悲しいことつらいこと、
いつかきみの宝もの、
無駄なことなどなんにもなかったと、
感謝して振り返れる時が来る。

2.

若い時の苦労は、
買ってでもせよと言われたって、
苦しい試練の真っ只中じゃ、
ふざけんな、うるせ〜って思うよね。

3.

だけど人生後半になり、
自分の転機をふりかえてみると、
試練 失敗 病気 や涙、
みんなきらめく宝もの。

<サビ>

だから今、気になることを
目を見開いて、受けて立て一
先など見えない、カオスこそ、
いつかあなたの宝もの

我ら新ユニットで贈ります！

- 中野民夫・高尾隆・鈴木健雄
- たみお・たかし・たけお
- 3つの「た」
- 3、た
- 名付けて「**真夏のサンタ**」
- 3人で歌うのは、「生きてるうちに」
 - あっという間に時間は流れるからね。今ここから

生きてるうちに

2017年2月15日

地球市民村仲間の計報に接して

作詞・作曲：中野民夫

1)

C G Am Em
生きてるうちに 精一杯 がんばろう
F C Dm7 G7
がんばり尽くせばひとつに溶けて楽になれるから
生きてるうちに 精一杯 楽しもう
きつといつか そのうちにでなく 今ここで
生きてるうちに 精一杯 歩こうよ
小さな一歩 積み重ねれば 遠くまで行ける
生きてるうちに 精一杯 学ぼうよ
知れば知るほど 奥が深いよ この世界

*

Am Em Am Em
たとえ明日旅立とうと たとえ世界滅びようと
F G F G C
わたしだけに できる 一人分の仕事 やろう

2)

生きてるうちに 精一杯 笑おうよ
おなか抱えて 笑いに笑って 涙が出るまで
生きてるうちに 精一杯 泣きましょう
涙がなければ たましいに虹は 見えないから
生きてるうちに 精一杯 怒ろうよ
身近な人やささいなことより 社会の不正義に
生きてるうちに 精一杯 愛そうよ
愛だの恋だの恥ずかしいけど みんな大好きさ

*

たとえ明日旅立とうと たとえ世界滅びようと
わたしだけに できる 一人分の仕事 やろう

**

生きてるうちに 精一杯 歌おうよ
みんなで一緒に 謳い踊れば ラーラーラー
ラー

(ラララでもう1回~数回)

黒味荘
Kurosumi

授業評価アンケート フィードバックシート」



- 最終レポート
- 今日の学びを加筆して再提出も歓迎します。
 - 加筆修正版とかVer.2とか書いて。
- 授業評価アンケート
 - T2SCHOLAから必ずお願いします。今からでも。
 - 自由記述欄もよろしく。
- 今日、どんな学びや気づき・発見がありましたか？最後のフィードバックよろしく。
 - <https://forms.gle/ZirPiV84HSzzw8iJA>
 - 出席確認を兼ねるので極力この場で15分以内をお願いします。
 - 注意：出席していないでフィードバックシートだけ出すのは不正行為です。東工大のルールでクォーターの全ての単位が取り消されます。